

2022年12月13日7面掲載 山梨日日新聞

「都留貨物自動車」を 第一貨物が子会社化

運送業「第一貨物」（山形市）は12日までに、関連会社である「都留貨物自動車」（富士吉田市下吉田6丁目、白田優社長）の株式を取得し、子会社化したと発表した。同社は「子会社化により連携を強め、効率的な物流体系の構築を図り、顧客利便性の向上につなげていく」としている。

第一貨物によると、株式は7日に取得。同社は議決権比率89・8％の筆頭株主となった。子会社化後も経営陣の異動などはなく、白田社長が継続して社長を務める。都留貨物自動車は今後も県内の運送業務などを継続する。取得価格は明らかにしていない。

第一貨物の担当者は「これから地元密着の物流サービスを展開し、地域貢献に努めていく」と話している。